



あしべつ

市議会だより

2021年
7月1日
No.20

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>



6月1日から総合福祉センターふれあいホールにおいて、新型コロナウイルスワクチンの集団接種がはじまりました。ワクチンを接種することで、発熱やせきなどの発症を防ぐ効果が認められることから、すでに予約をされたかたは忘れずに接種しましょう。



議長 動 静

芦別市議会議長

田 森 良 隆

去る4月24日にあしべつ宿泊交流センター2号館のオープニングセレモニーが開催され、参列者を前にご挨拶をさせていただきました。また、オープン前の3月28日には、見学会が行われ施設を見させていただき、合宿される方々に喜んでいただける施設が完成したと思ったところであります。

本市は、平成11年に「合宿の里構想」を打ち出し、これまで多くのスポーツ・文化合宿を受入れ、スポーツ・文化の振興及び地域経済の活性化を図る合宿によるまちづくりを進めてまいりましたが、北の京芦別の廃業以降、宿泊施設の不足が合宿事業での課題となり、これまで議会において宿泊施設の整備について数多くの議論が交わされてきました。

2号館の完成により、これまで以上に多くの合宿を受け入れることが可能となり、今後、多くの合宿を誘致するために、どの様にPRして行くのか、担当する部署の活躍に期待していると、私もこれまでスポーツに関わってきておりますので、関係者に声を掛けて行きたいと考えております。今年8月には、これまで帯広市、夕張市で実施されていた北海道内の高校男子バスケットボール部十数校が参加しての実践強化を図る「札幌創成カップ（旧ナナカマド強化合宿）」が芦別で実施されることが決定しました。また、私が大学生時代に在籍していました大阪商業大学バスケットボール部の後輩達が8年ぶりの芦別合宿を計画しております。コロナ禍で実施できるか不透明ではありますが、合宿が実施されることになりましたら練習を見学させていただき、激励の言葉を掛けてあげたいと思っています。

主な内容

- ◎ 5月定例会代表質問・一般質問…………… 2～7
- ◎ 議会の動き・9月市議会のお知らせ…………… 7
- ◎ 5月定例会の議決結果…………… 8

5月定例会代表質問

新星クラブ



石川 洋一 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

質問 ワクチンクーポン券の送付及び高齢者への集団接種スケジュールについて伺う。

答弁 65歳以上の高齢者向けのワクチン接種については、事前予約における混乱を避けるため、85歳以上、75歳以上、65歳以上の3分割にして、1週間ごと3回に分けて発送することとしました。

また、集団接種スケジュールについては、当初の計画通り6月1日から実施することとしております。

さらに、市外からの医療従事者を確保し集団接種日に日曜日を加えることにより接種時期を7月中に変更したところであります。

コロナ禍による事業者への経営支援策について

質問 今期定例会において条例提案された飲食業経営支援金支給条例の実施時期、支援金額、加算区分について伺う。

答弁 支援金は、申請時期にもよりますが、本年6月中旬に支給する計画であり、業種や年間売上高により区分し、10万円から40万円までの範囲で基本額と加算額を組み合わせた金額により支給するものです。

加算額については、飲食業のうち最も利用機会が減少し、売上が低迷しているスナック、バーの業態について、それぞれの経営規模に応じた支援を行なおうとするものであります。

質問 第2弾市民生活応援商品券の実施時期と金額について伺う。

答弁 コロナ禍による市民生活への影響を緩和し、域内消費喚起を高めることで地域経済の振興を図るため昨年に引き続き配布するものであり、市民一人につき五千

5月定例市議会では、荻原市長の市政執行方針と福島教育長の教育行政執行方針について、2会派が代表質問を行い、4名が一般質問に立ちました。それぞれ要旨を掲載しています。なお、会議録は図書館、市内各コミュニティセンターで閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

質問 国と道からの支援策について伺う。

答弁 国からの支援策としての措置区域から、営業時間短縮の要請を受けた飲食店と直接または間接的に取引のある事業者、並びに措置区域から5割以上の人流が減少している地域における観光関連事業者について、売上額が50%以上減少している場合、一時支援金として、法人60万円、個人事業者30万円を上限として給付する支援制度があり、北海道が5月16日からの緊急事態宣言の措置区域となったことで講じられる新たな支援策とともに、確定次第本市ホームページ等で周知を図っていきたくと考えております。

市民の安全・安心な暮らしと環境づくりの推進について

質問 コロナが収束するまでの市総合庁舎の整備について伺う。

答弁 具体的な時期の明示はできませんが、近隣で新庁舎の供用開始をした砂川市等を視察し情報収集を行い、今後、総合庁舎整備市民検討委員会やまちづくり懇談会に備え、総合庁舎整備庁内検討会議で規模や機能等の検討を行ってまいります。

高齢者等保健福祉の充実について

質問 高齢者の運転免許自主返納の支援策としてAカードのポイント付与ができないか伺う。

答弁 運転免許証を元々所有し平性の観点から付与するには至っておりませんが、動機づけのひとつとして自主返納者の方に対する敬意として感謝状等を贈呈させていただいております。

移住定住対策の推進について

質問

地域おこし協力隊制度を活用したまちづくりの担い手となる人材の誘致の具体的取り組みについて伺う。

答弁

昨年度から農業をはじめ、福祉、土木部門での募集に加え、さまざまな経験やスキルを生かしてテーマを定めて活動を行うフリーミッション型の隊員募集を行っておりますが、採用に至っておりません。

今後さまざまな分野において募集環境を整えながら引き続き人材誘致に取り組んでまいりたいと考えております。

教育環境の充実と支援策、文化の振興について

質問

コロナ禍で学校行事が制限される中、児童生徒の学校での思い出を残すための予算について伺う。

答弁

昨年度は市内小中学校において、感染防止対策を継続する中で学習活動や行事が制約を受けることとなり、児童生徒にとってはつらい学校生活であったであろうと推察するところであります。

現在のところ各学校から思い出づくりに関する具体的なお話は伺っておりませんが、必要となった場合は予算措置について配慮していきたいと考えております。

質問

浄水場の統廃合による施設の整備について伺う。

答弁

水道事業基本調査において、芦別浄水場の更新時期などについての検証を行ったところ、令和8年度までに芦別浄水場を適正な規模で新設し、令和9年度からの供用開始に併せて、西芦別浄水場の運転を停止する手法が最も効果的で経済的であるとの結果となった

ことから、この調査結果に基づいて施設の更新整備を進めてまいりたいと考えております。

質問

市民に対するシビックプライドの醸成の考えについて伺う。

答弁

市民一人ひとりがまちを構成する一員であるという当事者意識を持って自発的にまちづくりに参加する、あるいは、まちをより良いものにするための取り組みに積極的に関わることを大切にしているというシビックプライドの考え方は、本市のまちづくりの基本条例で定めるまちづくりの二つの柱である「情報共有」と「市民参加と協働」の推進と同様の考え方であり、市は市民一人ひとりが主役として主体的にまちづくりに参加できることを保障し、町内会やボランティア団体等のコミュニティ活動が円滑に行われるための環境を整備することとしておりますので、今後も人と人とのつながりを大切にしながら、こうした環境の整備、充実に努めてまいりたいと考えております。また、何よりも子ども達の愛郷心を育むことが重要なことであり、家庭、学校、地域、

質問

農業振興の強化に向けた副業農業などの新たな取り組みへの見解について伺う。

答弁

副業として農業への従事を希望される方の受け入れ体制の強化等を行う考えは、現状、持ち合わせておりませんが、中山間芦別集落が農業サポート人材バンク制度により、作業繁忙期に臨時的な労働力を求める農業者と従事希望者の橋渡しを行っておりますので、副業として農業従事を希望される場合は、農業サポート人材バンクへ登録していただくほか、今年度から運用が開始された芦別市就職支援サイト「芦別しごとナビ」の活用により、農業者とのマッチングの機会を設けることで、労働力の確保に繋がってまいりたいと考えております。

市政執行方針及び教育行政執行方針について



林 伸樹 議員

政風会

学校統合という大きな環境の変化を経験する子ども

達に対する不安の解消の取り組みを行う考えについて伺う。

答 弁

統合となる時点において中学校に在籍する生徒同士はもちろんのこと、小学校の児童同士との交流も必要であると考えているところであり、今後、学校と協議しながら、授業や学校行事、児童会・生徒会の活動など、活動をともし、交流できる機会をすることにより、不安の解消と仲間意識の醸成を図り、子ども達が新たな環境にスムーズに移行していけるよう対応してまいりたいと考えております。

質 問

中学校の統合で終わらず、さらに先を見据えた子ども達の学び舎の適正化の姿を示す

5月定例会一般質問

無所属



若松 市政 議員

国道452号の整備促進について

ことについて伺う。

答 弁

今回見直しをした市立小中学校配置基準と配置計画においては、児童生徒数の減少を踏まえ、望ましい規模の集団の中で生徒を育ていくことが必要であると考え、中学校を統合することとしたところでありますが、小学校についても、今後の児童数減少の動向などを踏まえ、将来的には、本市の学校数は小学校一校、中学校一校の二校体制となることを見据え、小中一貫教育の形態を含め、本市における小中学校教育のあり方や学校施設のあり方、さらには高校との接続など、様々な観点から検討していかなければならないものと考えております。

質 問

本市と美瑛町間の未開通区間12.9キロメートルのうち、芦別盤の沢道路「鏡トンネル」の着工決定がなされた。未開通区間に関して、ようやく何らかの動きが出てきたところであるが、トンネル工事の着工時期をはじめ、その後の具体的なスケジュールについて伺う。

答 弁

札幌開発建設部が所管する盤の沢道路の「鏡トンネル」工事は、熊谷・宮坂特定建設工事共同企業体が受注し、現在、旧緑ヶ丘小学校跡地に現場事務所及び約50人規模の宿舍の整備を行っているところであります。

トンネル工事の着工は、本年8月中旬を予定し、1か月間に約60メートルを施工し、延長2102メートルを3年間で貫通する予定と伺っております。

なお、旭川開発建設部が所管する五稜道路につきましては、今後5年以内に「台の下山トンネル」延長1860メートルの着工を予定しており、早期開通に向けた整備促進に期待をしているところであります。

三段滝公園付近のトイレなどの整備について

質 問

ここ最近、北海道開発局が「シーニックバイウェイ」など、北海道の自然を生かした観光目的の道路整備を進めているようにも聞いており、その観点からも、三段滝周辺は絶好のポイントとなり、自然環境を守りながら本格的な整備を行うべきと考える。

市長の考え方と今後の国、北海道との協議の方向について伺う。

答 弁

三段滝は本市の景勝地として、芦別の魅力を発信する貴重な財産であり、北海道の観光振興に寄与する重要な観光拠点の一つと考えていることから、これまで道路管理者である国と北海道に観光目的の通行者のための休憩施設等の整備要望を行っているところであります。

また、本年3月に三段滝公園付近の国道452号で雪崩が発生し、通行止めになったことを受け、異常気象による災害発生時等に、通行者のための緊急避難場所としても整備が必要であると認識しており、休憩施設等の整備については、国が進める国土強靱化の観点からも、国及び北海道に強く要望してまいります。



市民連合議員団



小川 政憲 議員

市総合庁舎の整備について

質問

昨年示された整備計画は、庁舎の整備を令和13年度までに完了させるのか、令和13年度から着手する計画なのか伺う。

答弁

現時点での仮定では、総事業費35億円とした場合、今後2か年で近隣自治体の視察や情報収集を、令和5年度から令和8年度にかけて市民並びに議会等との意見交換を行い基本計画を、令和9年度に基本設計、令和10年度には実施設計を、令和11～13年度で新庁舎建設、現庁舎解体などを行う想定としていますが、今後の取り巻く環境、条件に変更も考えられますが、その整備は急務と認識しており、できるだけ早期に環境が整うよう努めてまいります。

地域公共交通対策について

質問

芦旭線廃止に伴う常磐以北のバス路線について道道沿いを路線とせずにデマンド方式とすべきでないか。また、野花南、頼城・川岸地区などもバス路線の対象とし、デマンド方式による交通体系の整備を進めるべきでないか考えを伺う。

答弁

芦旭線廃止後の対応については沿線町内会で住民説明会を開催し、市の考え（ジャンボタクシーによる実証実験運行実施）を説明させていただきましたが、将来的な地域要望もあり今後の検討課題といたします。

質問

本町、上芦別町、西芦別町以外の郡部の交通体系の整備については、今後2か年かけて地域公共交通計画を策定し、望ましい地域交通の方向性を定めることとしており、その際、デマンド方式等も含めて検討してまいります。

質問

啓成中学校の統合決定（令和5年4月）にあたり施設整備の議論はなかったのか。また、統合までのスケジュール等について

答弁

統合校舎となる芦別中学校の施設整備については、より一層良好な教育環境を維持、確保するため、必要な対応を図ってきたいと考えておりますが、現状、統合校舎を建設する考えは持ち合わせておりません。

本市が進める小中一貫教育との関係では、それぞれの施設が存在する「施設分離型」の形態により進めることとしております。

公明党



松尾 達矢 議員

18歳までの医療費助成について

質問

子育て支援への医療費助成の拡充が続く中、子育て世代にとっては医療費助成の助成は大助かりである。本市における18歳までの医療費助成についての考えを伺う。

答弁

今後のスケジュールとしては、啓成中、芦別中各校区の学校運営協議会やPTA、更には啓成中校区町内会などに対し統合方針、統合時期等について説明会を開催し、8月頃を目途に教育委員会の考えを示し、最終決定し具体的準備と対応を進めてまいります。更に、統合年度の前年度には、施設や設備の整備・更新を行うほか、生徒やPTAの交流などを行ってまいりたいと考えています。

18歳まで対象を拡大した場合に想定される市の負担額は、13歳から15歳までの医療費助成負担額を参考に年間300万円程度が予想されることではあります。が、近隣自治体などの動向を踏まえ、「子ども・子育て支援事業」の充実を図るため、前向きに検討してまいりたいと考えております。

質問

観光と地域活性化のためのドッグランについて

質問

本市の犬の頭数について伺う。

答弁

令和3年3月末日現在で登録申請件数は533頭と

なっております。

質問

道の駅にドッグランを設置する考えがあるか伺う。

答弁

ドッグランにつきましては、安全で衛生的な施設を設置し、管理していくためには、造成工事費と維持管理費に多額の費用を要することに加え、現状、道の駅内の緑地帯では十分な面積が確保できず、観光客の花火観覧に支障があるほか、不特定多数の方が利用する緑地帯では、環境衛生的な面とアレルギー体質の方への配慮も必要ですので、道の駅エリア内に設置することとは適当ではないと考えております。

質問

ドッグランを「こだま公園」に開設をしてはどうか伺う。

答弁

公園内への立ち入りを禁止しているところであり、本市におきましても、公園利用者の迷惑行為とならない管理は困難なことから、「こだま公園」などの都市公園内にドッグランを開設する考えは持ち合わせていないところであります。

再質問

砂川市では「ドッグランの会」を民間で立ち上げて管理、運営を行っています。本市も民間から、運営や管理をするとの声が上がったら検討するか伺う。

答弁

そのような声が上がったら検討いたします。

移住・定住促進のため、奨学金の返済応援について

質問

21年度から日本学生支援機構では「企業の奨学金返還支援（代理返還）制度」がスタートした。この制度を各企業に訴えて、本市企業への就職につなげてはどう

日本共産党



松井 邦男 議員

新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染拡大が止まらず、医療は危機的状況にある。市は市立病院に「抗原定量検査」機器を導入し、施設でのク

質問

ラスター防止対策を講じるが、経営が

か伺う。

答弁

本制度の活用は、人手不足に悩む市内企業にとって人材獲得の一助となることから、制度周知に努めてまいります。

質問

人口増の観点や移住・定住政策の視点から奨学金返済の何らかの支援ができないものか、また、取り組む考えがあるか伺う。

答弁

これまで議会からさまざまなご意見をいただいておりますので、具体的に検討を進めてまいります。

答弁

厳しい医療、福祉・介護施設の検査費用の負担軽減を。アレルギーなどの副反応でワクチン接種ができない市民に助成が出来ないか伺う。

導入の検査機器は、陽性か陰性かの判定に用いるものです。アレルギー体質などで接種できない方もいるものと想定されますが、提案の条例は施設でのクラスター発生防止が目的で、個別対応は諸事情から現状では困難と捉えています。検査費用負担の軽減は現時点では考えは持ち合わせていません

質問

人口減少に伴い放置空き家が増えている。市内での放置空き家の件数と解消へ解体費用の補助について伺う。

高齢者「歯科健診」の実施を

質問

道の後期高齢者医療広域連合では、高齢者の「口腔機能の低下防止」の事業として平成28年度から「歯科健診」を実施し道内50市町村に委託しているが、声別では実施していない理由と今後の取り組みの考えについて伺う。

答弁

平成14年度から「歯科健診」を実施してきたが定期的に受診、メンテナンスの方が増加し、改善が見られたことから24年度に終了しました。歯周疾患予防の「歯の健康」維持には、定期的な歯科医による専門的なケアが必要であり「歯科健診」の実施を前向きに検討してまいります。

放置空き家解体費用の補助・助成を

質問

人口減少に伴い放置空き家が増えている。市内での放置空き家の件数と解消へ解体費用の補助について伺う。

答弁

令和元年度の調査で空き家859件のうち、全く管

議会の動き・9月市議会（定例会）のお知らせ

議会の動き 令和3年5月上旬～令和3年6月下旬

【5月】

- 6日 議員会派代表者会議
" 議会運営委員会
- 7日 中空知広域市町村圏組合議会第1回臨時会
(滝川市)
- 13日～21日 第4回市議会（定例会）
- 17日 議員会派代表者会議
" 議会運営委員会
- 19日 総務常任委員会
" 議員会派代表者会議
" 議会運営委員会
- 20日 社会産業常任委員会
" 議員会派代表者会議
- 21日 広報広聴委員会
- 28日 滝川地区広域消防事務組合議会第1回臨時会
(滝川市)

【6月】

- 16日 議員会派代表者会議
- 17日 総務常任委員会
- 18日 議員会派代表者会議
" 議会運営委員会
" 広報広聴委員会
- 23日 第5回市議会（臨時会）
" 広報広聴委員会
" 北海道子どもの国協会令和3年度定時評議員会
(砂川市)
- 30日 全国市議会議長会建設運輸委員会
(東京都)

提案

赤平市は老朽住宅の除却に30万円限度の助成で毎年

策を注視してまいります。市の財政負担が大きく、国や道の施策が期待できないと考えますが、効果が期待できないとありますが、市の財政負担が大きく、国や道の施策を注視してまいります。

質問

いじめや虐待、性差別は、子どもの心身を傷つけている。人権を守る「こども六法」の活用、学校図書への配備についての考えを伺う。

児童生徒への人権を大切する教育を

20件から30件の解体支援。深川市や夕張市では20万円上限に撤去費用を補助し、危険空き家の解消支援を行っており、参考に検討してほしい。

答弁

人権教育を進めるうえで「こども六法」の活用が可能で、学校の意向を確認し対応して参ります。

※その他、市長と市民との積極的対話・交流、市総合庁舎建設、高齢者ワクチン接種、受動喫煙防止条例制定、教育委員会の各種審議会への女性委員の割合、警察からの図書館情報照会問題を質問しました。

9月市議会（定例会）のお知らせ

- 会期 9月9日（木）～24日（金）
- 日程 9日（木）本会議（議案の提案）
13日（月）・14日（火）本会議（一般質問）
15日（水）・16日（木）常任委員会
17日（金）・21日（火）・22日（水）決算審査特別委員会
24日（金）本会議（議案の議決）
- 開会時間 いずれも午前10時から
- ※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります



5月定例会の議決結果

5月13日、令和3年第4回市議会（定例会）が招集され、会期を21日までの9日間と定めて、令和3年度補正予算、条例制定などが審議されました。
議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

| 議案 | 件名 | 結果 |
|------|--------------------------------|------|
| 補正予算 | 一般会計（第3号） | 原案可決 |
| | 一般会計（第4号） | 原案可決 |
| 条例制定 | 新型コロナウイルス感染症検査費用助成条例 | 原案可決 |
| | 新型コロナウイルス感染症対策飲食店経営支援金支給条例 | 原案可決 |
| 条例改正 | 就学援助費支給条例 | 原案可決 |
| 人事案件 | 公平委員会委員の選任（被選任者：近藤明日子氏） | 同意 |
| その他 | 人権擁護委員候補者の推薦（被推薦者：田中優一氏、蜂谷文子氏） | 可と答申 |
| 報告案件 | 放棄した私債権 | 報告済 |
| 意見書 | 保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書 | 原案可決 |
| | 地方財政の充実・強化を求める意見書 | 原案可決 |

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

| 議案 | 件名 | 結果 | 大鎌 | 北村 | 樋坂 | 林 | 石川 | 大橋 | 松井 | 若松 | 小川 | 松尾 | 新村 | 田森 |
|-----|---------------------------------------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 光純 | 真 | 直紀 | 伸樹 | 洋一 | 二郎 | 邦男 | 市政 | 政憲 | 達矢 | 充 | 良隆 |
| 意見書 | 学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 |

■閉会中継続審査となった案件

| 議案 | 件名 |
|------|------------------------|
| 条例制定 | 子育て応援インフルエンザ予防接種費用助成条例 |

編集後記

今年2月に市長選挙が行われた関係上、例年3月市議会（定例会）で示される「市政執行方針」と「教育行政執行方針」が、今年5月定例会で示され、これに関する各会派の代表質問と一般質問が行われましたので、今回の議会だよりで紹介させていただきます。

北海道内での新型コロナウイルス感染者数は高く推移しています。緊急事態宣言下では、飲食店への影響も大きく、個人の行動も制限されるなど、生活全般にストレスを感じる方も多いのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス克服への大きな一歩になるワクチン接種が開始されました。本市においては、65歳以上の高齢者の接種が6月1日から開始し、7月には終了予定とのこと。その後、順次65歳未満の基礎疾患を有する方へ、そして一般の接種へと拡大されていきます。大きな混乱もなくスムーズに接種が行われているとお聞きし、関係者に心より感謝申し上げます。

希望する市民への接種と一日も早いコロナ終息を願うばかりです。（松尾）

芦別市議会広報広聴委員会

委員長 樋坂直紀

副委員長 松尾達矢

委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一、

松井邦男、新村充